

校訓

正しく 明るく 健やかに

6月13日発行



宿泊行事を終えて

校長 加藤 弓子

「自分や自分の仲のいい友だちだけがいい思いをするのではなく、ここにいるみんながいい思いができる行事にしましょう。そのためには、一人ひとりが少しずつ我慢をすることも大切です。」

これは、修学旅行と野外活動の出発式で、私が子どもたちに伝えた言葉です。

修学旅行や野外活動の3日間は、子どもたちにとって楽しい時間であるとともに、いささかのストレスを感じる時間でもあるかもしれません。家族と会えない寂しさを感じることもあります。気を遣うことに疲れてくることもあります。そうしたことが原因となつてちょっとしたトラブルが起こることもあります。

そんな理由で伝えたのが出発式の言葉です。ここでいう「我慢する」ことは、「自分の中で折り合いをつけること」とも言い換えられます。

実際の修学旅行や野外活動の3日間で子どもたちが見せてくれたのは、普段親しくしていない仲間にも優しい声をかける姿、時間をしっかりと守り周りに迷惑をかけまいとする姿、お世話になる方にお礼を伝える姿・・・、等でした。その姿からは、みんなと協調して生活することの大切さや楽しさを学んでいる様子をうかがい、「みんながいい思いができる行事」にすることができたと感じとることができました。特に3年生は『たくましさ』、2年生は『優しさ』があふれた3日間となりました。

この時期、1年生も校外学習に出かけました。それぞれにねらいはあるのですが、日常の生活も同じです。上手くいくことばかりではなく、問題にあたったり、時には我慢をしたりすることもあります。そうしたひとつひとつの経験が、子どもたちの「折り合いをつける力」の育成につなげていけることを願っています。

行事の後、保護者の方から他の機関を通してわざわざお礼の言葉をいただき、とても嬉しく思いました。「先生たちのチームワークがとてもよくて、安心して子どもを送り出すことができました。お礼に学校周りの草刈りをしておきました。」とのこと。保護者のみなさまのご理解ご協力があったからこそその貴重な学びです。本当にありがとうございました。

～学級目標～

各クラスの学級目標の掲示物が完成しました。クラスの特徴がよく出ています。



1年1組



1年2組



1年3組



2年1組



2年2組



2年3組



3年1組



3年2組



3年3組



A組



「6月は疲れやすい」

私は心療内科で働いています。ここでは様々な人たちが色々な話をしていけます。その中でしばしば聞く言葉があります。普通は、という言葉です。「普通はこうなのに」や、「普通そうですよね」ということで語られることが多いように思います。よく伺うと、何人かは人の一部分を取り出してそれを繋ぎ合わせた普通というものを語っていることが多いことに気がつくことがあります。人はそれぞれ違うものだとはわかっているのにも関わらず、自分の中でその普通を組み合わせて理想の架空の「普通の人」を作り出し、自分の苦手とすることを見て（それが他の人から見ると魅力的であっても）劣等感に苦しみ、普通ではない自分に悲しい思いを持つ方が多くいらっしゃいます。そうした姿に触れていると、私自身もどこかで同じような思いを抱えていることに気づくこともあります。

カウンセリングでは、守られた空間で本当にそこまで思い込む必要があるか、それは自分にとってどういうものなのか、といったことを、ゆっくりゆっくり時間をかけて2人で見つめていきます。簡単なことではなく、正解もなく、大変な思いをしながら、だんだんとその方達が自分で自分というものを引き受けて受け入れていく過程に寄り添っていきます。そして立ち止まるきっかけになることは大概が辛い出来事ですが、そこから色々なことを見つめていく方達をみると、人生に意味のないことはないということを実感します。向き合うべきだということではなく、そういう時が来たからそうなったということなのだと思います。生きていく中ではそういった立ち止まって深く考えるという時間をもつというのも、時には必要なことではないかと思っています。

☆7月8月スクールカウンセラー来校日（在校時間11:30-16:00）

7/4（金） 7/11（金） 7/18（金） 8/8（金） 8/29（金）

※カウンセリング内容は生徒さんにかかわることであれば何でも構いません。

ご希望の方は学校までご連絡ください。

